

平成 29 年度 第1回南区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	平成 29 年 7 月 26 日 (水) 午後 1 時 30 分から午後 2 時 45 分まで
会 場	南区役所 4階講堂
出席者	<p>南区自治協議会委員 21名</p> <p>教育委員:佐藤久栄教育委員、渡邊節子教育委員</p> <p>事務局:高居教育次長、教育総務課長、地域教育推進課長、 学校支援課長補佐、白根地区公民館長、白根図書館長、 南区教育支援センター所長 他 4 名</p> <p>南区役所:地域課長、同課長補佐</p> <p>傍聴者:1名</p>
議 事	<p>1 開会</p> <p>2 教育委員挨拶(佐藤教育委員、渡邊教育委員)</p> <p>3 平成 29 年度教育委員会の施策について(高居教育次長)</p> <p>4 意見交換(司会 南区教育支援センター所長)</p> <p>意見交換1(地域で子供を育てるために、地域と学校に求められること)</p> <p>意見交換2(より良い地域づくりに向けた地域・学校・社会教育施設の連携)</p>
自治協委員	<p>私は白根大凧太鼓の「勇南」をしています。6Pの下に載っていますが、指導頂きミュージックパラダイスで演奏したとのことで、DVD も見せてもらいました。とても素晴らしい演奏でした。</p> <p>しかし、素晴らしい演奏を見られるのも、学校と PTA だけであり、もったいないと思ひ、直後に白根大凧と歴史の館で「勇南」の演奏会があったので、学校からも参加してもらえないか担任に話をしました。学校も協議されたようだが、残念ながら出席出来ないとのことでした。</p> <p>また、ミュージックパラダイスの DVD も頂きたいとの申し入れに対し、お世話になったので「勇南」だけであればと 1 枚頂きました。</p> <p>せっかくの素晴らしい演奏が地域の皆さんに広めたかったが残念でありました。これでは地域と子供は育っていかないと思いました。</p>
教育委員	<p>素晴らしい提案ありがとうございます。学校では年度初めに年間の計画を作っているもので、急な提案には対応が難しいと思います。</p> <p>ミュージックパラダイスが、来年、再来年も続く中で、こういう提案を続けていき、地域と学校で課題解決する事で、コミュニティが深くなっていくと思いますので、来年もご提案頂きたいと思います。</p>
自治協委員	<p>私は臼井小・中でコーディネーターとして活動しています。</p> <p>臼井には、棒踊りという地域の踊りがあります。10年前くらいから地域の棒踊振興会から指導を受け、体育祭に棒踊りを行っています。</p> <p>その中で、小・中学校の連携が取れていないと聞き、昨年、祭りに小学生が棒踊りで参加出来ないかと小学校の先生と相談し、地域の棒踊振興会から指導を受け、地域の祭りに棒踊りを行う予定であります。</p>

自治協委員	<p>来年度も続けて行きたいとの学校の意向であり、学校に声をかけて良かったと思っています。</p> <p>地域の方は、地域と学校が繋がることに慣れていないので、今後も棒踊りで小・中連携して、地域と次のステップに繋がっていければ良いと考えています。</p> <p>教育ビジョンは大変素晴らしいと思っています。</p> <p>数日前に、私の近くの学校で説明会がありました。気になったのが引きこもりです。「いじめ」についての新聞報道も見ているが、家庭教育がどうなっているのだろうかと思います。説明会でも、父兄も子供としっかり向き合ってくださいとお願いがありました。これからは、そちらの方も一生懸命お願いしたい。</p> <p>もうひとつは、防災教育の指定校になったので、小学校からもコミ協からも出席依頼が有りましたので応援に行ってきました。</p> <p>1学年だけが対象で、残りの5学年がまだですので、少し懸念がありましたが、防災教育に地域から応援していきたいと思います。</p> <p>また、学校も誰か1人くらい防災士の方がいれば良いかなと思っています。</p> <p>補足ですが、小学校での防災教育の前に、全校生に当時の恐ろしさを話されていました。</p>
自治協委員	<p>3児の母です。家庭教育では大したことをしていませんが、人の悪口を子供の前で言わないということを徹底しています。</p> <p>地域の中に入ると思うのは、「あの人がどうだ」というような話をよく聞きます。それがなくなれば、良い地域になるのにと思うのですが。</p> <p>家庭だけでなく、地域でも思いやりを持つと、「いじめ」も無くなっていくのかなと思います。</p>
教育委員会 事務局	<p>いじめについての対応が喫緊の課題で、たくさん話が学校から来ています。</p> <p>市教委と学校が、手を携えていじめを無くそうと、様々な対応をしています。</p> <p>例えば学校において、「いじめ対応ミーティング」という会議を必ず設置し、学級担任で抱えるのではなく、管理職を含め学校単位で情報共有し、アイデアを出し合う組織を作り、温かい学級を作っていこうとしています。そのためには、保護者と学校とが連携を密にし、互いに信頼することが必要です。</p> <p>防災教育では、中学校区単位で、学校地域連携事業の指定をしています。</p> <p>防災教育の取組は、1学年だけが対象となっても、全学年に広げたいと考えています。小・中学校と、地域コーディネーターと地域の方も、一緒に取り組むようお願いしたいと思っています。</p>
自治協委員	<p>根岸小学校では、今年10月に行われる根岸地区の防災訓練に全校生徒で初めて参加する予定です。今までは数人の生徒が関わってきましたが、初めて全校生徒で参加することは、大変意義のある事だと思います。</p> <p>「より良い地域づくりに向けた地域・学校・社会教育施設の連携」について 白根地区公民館・白根図書館の取組を説明</p>
自治協委員	<p>庄瀬小学校の地域教育コーディネーターをしています。公民館の庄瀬担当者の方と一緒に、子供たちが参加したくなる事業を計画しています。</p>

自治協委員

今年も地域の植物に興味関心を持ってもらおうと、県立植物園の先生をお呼びして、学校の周りの植物を観察しようと思っています。

他にも、昨年終り頃に地域の方々とお茶会で楽しませて頂きました。

「生涯学習時代を支えている施設」という表現を初めて聞きました。

20数年前に、国で学習というスタイルを変え、生涯学習局を新設し、県内のいくつかの市町村も「学・社・民」という表現を基礎にしていますが、多くの市町村が変えています。新潟市教育委員会は、現在も「学・社・民」という表現を使っている。すべての中心が、学校というところに行きつきます。

地域も一般社会で活躍する人達も、生涯にわたって学び続ける全体のシステムを、新潟市教委は少し別な所にシフトしていないかなという気がしています。

最たるものは公民館です。4年前に、新潟市の公民館のあり方という方針が決定され、特に中央区では地域から「公民館なんて要らない」という不要論が出ました。都市の密度が濃くなればなるほど、公民館というものが希薄になってきます。それと同時に、公民という認識が、その地域や街に育たなくなる傾向になっています。

公民館はもっと、地域に根差したローカリティを前面に出した学習機関、教育機関に昇華させていけないだろうかと思っています。

学校教育も、80数年にわたる学びの「ほんの1ステージで有る」という認識で、学・社・民をもう1回議論していただきたいと思っています。

成果・果実を学校が全て取ってしまうので、フィードバック出来るシステムを、今のビジョンの中に持ち込んでもらいたい。

逆にとると、学校という不変のもの、絶対やらなければならないものに対し、他の部門が土足で入り込むという危険性も出てくる恐れがあります。この加減を整理してもらいたいと思っています。

教育委員会
事務局

公民館が中心となっている、学びの循環という事について。

学校は地域の一つであり、地域から学ぶこともたくさんあります。その内の一つが公民館です。公民館で学んだ方から子どもたちに教えていただき、その子どもたちが大人になり、公民館活動を盛んにやってまた地域の子供達へ、という循環の流れの中で進めています。

今後は積極的に教育委員会としても、新たな視点を取り入れて行きたいと思っています。

教育委員

教育委員を引き受ける前は、学校が教育の中心という意識でいました。子供を育てていく中でも、やはり学校が中心。少し広がっても地域の友達との関わり。そういう行動の中での視点しか持てずにいました。

お話があったように、色々な方々が事業に関わってくださっていることは、なかなか保護者には見えづらい所があります。新しい取り組みを進めている事が、学校の先生や住民一人一人の意識にどこまであるかという、個人差があります。

冒頭のミュージックパラダイスなどの意見を取り入れる為には、「新しい取組をしていこう」とか、「変わってもいいんだ」という意識を、皆が持っていく必要があると思います。

自治協委員	<p>また、校長先生が率先して「地域と学校を繋ごう」という、目に見える行動が必要と 思っています。</p>
自治協委員	<p>コミュニティ協議会が出来、コミュニティセンターでは公民館活動がされていない ように見受けられます。</p>
自治協委員	<p>生涯学習は地域が主体となると思います。出前授業を大いにしてもらいたい。も ちろん、予算の面もあるかとは思いますが、例えば子育てなどは、コミ協や中央公 民館でもやっていて、競合しています。</p>
自治協委員	<p>できたら、出前授業は地方に目を向けてほしいと思っています。</p> <p>公民館や学校に地域の活動に携わっています。今の学校の教育が体系的にど うなっているかわかりませんが、以前、小学校の総合学習で地域の歴史を学ぶこと がありました。地域の名所旧跡を、児童が班を組んで回っていて、例えば堀部安兵 衛が住んでいたところや、山本権兵衛の奥さんの実家があります。私も案内をした ことがありました。</p>
教育委員会 事務局	<p>今、こういう事が無くなったのでは。地域の歴史は継続しないと理解が出来ませ ん。小学生の6年間で覚えて、庄瀬の誇りを持ってもらいたい。</p> <p>茨曾根にも関根様の家があったので、そういうものを教えて、茨曾根の誇りとして 知ること、こういう事が本当の教育と思っています。</p>
教育委員	<p>教育課程は校長が作ります。地域と連携した行事は、教育課程に組み込まれて いるので、年間を通して行うことになっています。</p> <p>一発で終わることは地域学習ではありませんし、教育課程の中に埋め込む事で 持続可能な学習になるということは、教育委員会としても指導していきます。</p>
議 事	<p>私の経験になりますが、大学は関東に行き、新潟に戻ってきました。今でも思い 出すのは、小学校の頃のこと、新潟市や地域のことを学んだことです。新潟に住め ば住むほど新潟が好きになって行く。成長してきた過程なんですね。副会長がおっ しゃるように、地域学が大事だと思っています。</p> <p>今日何人か出席されている地域教育コーディネーターさんが、学校に地域の豊 かな知識をお持ちの方々を繋げて、いろんな事業を取り組んでいるところです。</p> <p>継続しながらより良いものになるように、私どもも助言していきます。</p>
議 事	<p>5 自治協議会会長挨拶</p> <p>残念ながら、お二人の教育委員は中央区、西区にお住まいで、南区からの選任 ではありませんが、是非とも南区の事も含めご活躍頂きたいと思っています。</p> <p>南区自治協議会は、徹底的に議論する事をメインテーマに掲げています。これ が地域民主主義の基本であると思っています。</p> <p>新潟市の市民や新潟市の児童・生徒・学生の諸君は、自分の意見を述べる事が 大変苦手で、また述べようとしない子も多いようです。大人社会もわかりです。県民 性か、市民性か、長い間の教育の結果なのか。</p> <p>子供たちの学力は目覚ましいものがありますが、学力テストの A 問題は毎年上 昇、残念ながら B 問題の算数や国語は苦手としています。これが先程言いました、 自分の意見を出す事が不得意や出来ない事に繋がっているのかもしれない。</p>

15才の春から伸びていないで、大人になっている現状を少し危惧しています。
本日はどうもありがとうございました。

6 閉会